

古楽アンサンブル・セミナー

今年は、2コース実施！短時間で発表までしっかり仕上げましょう。



[Aコース]

10月16日(土)10:00-12:00

13:45-15:00※発表演奏含む

[Bコース]

10月16日(土)15:30-17:30

17日(日) 9:45-12:00※発表演奏含む



- 講師 ■ 岩田 耕作 ■会場 ■ アクロス福岡内
- 受講料 ■ 3,000円(学生1,500円) 複数コース:5,000円(学生2,500円)
- 楽譜代 ■ 郵送希望者は別途500円必要
- 課題曲 ■ [Aコース] J.P.ラモー:オペラ・バレエ「優雅なインドの国々」より *ピッチ415hz
[Bコース] E.カヴァリエリ:「おお、何という新しい奇跡」より *ピッチ440hz

■募集内容■

【弦楽器】ヴァイオリン、ヴィオラ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェロ

【管楽器】フルート、オーボエ、リコーダー、ファゴット

【通奏低音】チェンバロ、リュート

【合唱及び重唱】ソプラノ・アルト・テノール・バス ※合唱及び重唱はBコースのみ

注意 弦楽器は、ガット弦(又はそれに近い響きの弦)、バロック弓を使用の事。
管楽器は原則古楽器とします。

■受付期間 ■ 8月1日(日)10:00~8月15日(日)15:00

■お申込み ■ ホームページ(<https://www.kogaku.net/>)のお申込みフォームから！

◆今年の課題曲について◆ 文責:岩田耕作

昨年に引き続き、アンサンブルセミナーは二つのグループに分けて行います。Aコースのラモーは今年が器楽のみの演奏となります。序曲や舞曲の部分を抜粋で取り上げます。Bコースのカヴァリエリは声楽と器楽のアンサンブルです。いずれも最大20人までの募集となります。なおピッチがAコースは415hz、Bコースが440hzですので、器楽の方はお使いになる楽器の確認をお願いします。

☆J.P.ラモー:オペラ・バレエ「優雅なインドの国々」より *J.P.Rameau: Les Indes Galantes*

「優雅なインドの国々」は1735年にパリで初演されました。ここでいうインドとはヨーロッパ以外の国々といういみで、オスマン帝国、ペルー、ペルシャ、北米が物語の舞台となっています。和声理論家としても知られるラモーの作品はハーモニーの使い方の妙はさることながら、それぞれの楽器の音色を効果的に使い分けるなど、のちの管弦楽の発展に大きく寄与した作曲家でもあります。今回は序曲や舞曲などの、器楽曲の部分を抜粋で取り上げます。

☆E.カヴァリエリ:「おお、何という新しい奇跡」より *E. Cavaleri: O che nuovo miracolo*

「おお、何という新しい奇跡」は、1589年フィレンツェ大公メディチ家当主フェルディナンド1世とフランス王アンリ2世の孫娘クリスティーヌ・ド・ロレーヌの挙式の際に上演された喜劇「ラ・ペレグリーナ」の幕間音楽です。カヴァリエリは11年後の1600年には歴史上最初のオラトリオを作曲していますが、合唱とソリの対比、エコー効果など、舞台における空間的劇的音響を意識した作風はすでにこの曲にも現れています。

♪ピッチは曲により異なります。2コースともご参加いただくことも可能ですが、楽器構成、参加人数のバランスによってはご相談させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

お問い合わせ:新・福岡古楽音楽祭事務局

メール kogaku.fes@gmail.com ホームページ <https://www.kogaku.net/>

〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1 西館 2F(公財)アクロス福岡事業部内